

【22_048/思考系メルマガ】『いつも同じリズム』でトレードできる人の強み

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

勝てないトレードをずっと続けてしまっている人の思考というのは

その人の性格によって細かい差異があるものの、ある程度「共通点」があります。

それは『リズムが一定していない』ということです。

この“リズム”というのも、いろんな状況、パターンが考えられるのですが

今日このメールを読んで、すぐにでも意識レベルから変えられる事に注目して

一步『勝てる思考』に変えていきましょう。

□

■ 『いつも同じことを繰り返しできる』人が強い

もうサブタイトルに結論めいたことを書いてしまっていますが(笑)

要は、場当たりにチャートを見て、輪郭のぼやけたチャンスを一生懸命探してしまっている人というのが

いわゆる「(安定して)勝てない人」です。

▼以前、こんなツイートもしてます▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1492750902431825923?s=20&t=XWOtQ2GM811Wwf3PYrsWjQ>

これもまた、一つの磨きぬいた『型』をひとつ持っている事が前提とはなるのですが。。

自分の『待つべき形(=型)』が決まっている人というのは

精度を磨けば磨くほど(これは 検証母数 にだいたい比例する)、その形が整うまでに

『そろそろ近いか / まだまだか』という判断が非常に的確です。

これがしっかりできる人は、チャート監視に無駄が無く

それこそ上手に、普段の仕事の合間にサッと利益を取っていくという
世の兼業トレーダーが願ってやまないようなトレードをやっているわけですね。

より具体的に挙げるなら、自分の『型』が発生しやすい時間帯 / 通貨ペアの傾向をある程度把握
して

チャート監視もそれに合わせて行う。

自分が主体的に『数あるチャンスの中から選び取る』"余裕" があるので

『型通りのチャンス』でトレードしなかったとしても、いちいち悔しがることもありません。

チャンスを根こそぎ拾おうと血眼になっていないので、ゆったりと『いつも同じリズム』で
トレードができるんですね。

僕は、本当にトレードが上手い人というのは、こういうことができる人だと考えています。

そしてそれが、僕自身『トレーダーの理想』としている在り姿でもあります。

「あれもできたのに、これもできたのに」と、値動きを追いかけまわして

(実態と異なる)チャンスに追いすがるとしてしているうちは

まだまだ余裕のない「リズムを乱された」状態であるとも言えますね。

もちろん、最初はみんなそこからスタートするはずなので、今の自分がそういう状態だったとして
もそれを恥じる必要はないです。

(僕だって昔はそうだったなあ、と思いますし 笑)

それよりも、その状態から脱却して、どんな状態になればもっと楽にトレードが出来て『稼げる』状
態になるのか？

その条件については、ちょっと長くなってしまったので明日その続きを書こうと思います。